



OR6全国学力・学習状況調査および学校生活アンケートの結果について

本年度、4月18日に行った全国学力・学習状況調査での生活アンケート(3年生対象)の結果および7月に行った学校評価アンケート(全校生徒対象)の結果をお伝えします。

良好だったアンケート項目

【全国学力・学習状況調査(4月18日)】 ※数値は肯定的な回答をした割合、()内は全国との比較

	足羽中	福井県	全国
①授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。	93.3 (+1.0)	94.1	92.3
②先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	92.6 (+2.2)	93.8	90.4
③先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	88.5 (+3.6)	89.6	84.9

【学校評価アンケート(7月)】 ※数値は肯定的な回答をした割合、()内は前年度との比較

	R6年度	R5年度
④毎日学校へ通うのは楽しいですか。	90.0 (+7.6)	82.4
⑤あなたは先生との関係に満足していますか。	97.1 (+6.2)	90.9
⑥みんなで何かをするのは楽しいですか。	95.5 (-0.3)	95.8

課題が見られたアンケート項目

【全国学力・学習状況調査(4月18日)】 ※数値は肯定的な回答をした割合、()内は全国との比較

	足羽中	福井県	全国
⑦課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	69.2(-12.1)	84.2	80.3
⑧自分には、よいところがあると思いますか。	74.4 (-8.9)	86.0	83.3
⑨各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	64.9(-10.5)	80.8	75.4

【学校評価アンケート(7月)】 ※数値は肯定的な回答をした割合、()内は前年度との比較

	R6年度	R5年度
⑩就きたい職業など、将来の夢や目標を持っていますか。	61.1 (+1.1)	60.0
⑪宿題以外に予習や復習をしていますか。	56.1 (-7.0)	63.1
⑫授業でわからないところは先生に質問をしていますか。	68.4 (-4.4)	72.8

左記のアンケート①～⑥から、教員と生徒、生徒と生徒の良好な関係の中で、楽しみを見つけながら学習している様子が見られます。生徒が「学ぶ環境」としてはある程度の満足感を持つことができているといえます。また、次の項目(アンケート⑬・⑭)については、前年度と比べ大幅に数値が高まっており、「同じ空間で時間を共にする仲間と協働し、切磋琢磨しよう」という意欲が高まっていることが分かります。

	R6年度	R5年度
⑬自分の意見を積極的に発表したり書いたりして、表現していますか。	80.1 (+21.0)	59.1
⑭授業中、自分の思いや考えを相手と伝え合い、お互いに高め合っていますか。	87.8 (+10.6)	76.7

一方、左記アンケート⑦～⑫から、自分自身の将来についての目標意識がまだ芽生えておらず、「学校で学んだことを将来にどのようにいかせばよいかを考慮することができていない」ことがわかります。そのため、「学ぶ目的」を見出せないことが、「主体的に学習に取り組めないこと」にもつながっていると考えられます。

なお、文部科学省は、これからの未来に必要な力として「主体的に学習に取り組む姿勢」を重視しており、「主体的に学習に取り組む姿勢」とはどのような様子なのかについて、次のような例を挙げています。

◎「主体的に学習に取り組む姿勢」とは・・・

引用：東京都多摩教育事務所のホームページより(一部)

A 自分自身の身に付くまで粘り強く学ぶ姿

例



見通しをもって計画を立て、
解決しようとする姿



課題解決のために継続して
取り組もうとする姿



積極的に考えを広げたり、
整理したりしようとする姿

B 自分自身の学んだことを振り返ったり、試行錯誤したりする姿

例



学習を振り返り、学習の進め
方を改善しようとする姿



学んだことを参考に学習や
生活に生かそうとする姿



試しながら、表現の仕方
を工夫しようとする姿

「学びに向かう姿勢」は学生だけでなく社会人にも求められており、
各企業もこうした姿勢を身に付けている人材を必要としています

足羽中学校ではこうした課題解決に向け、本年度は、「キャリア教育の充実」を重点目標として取り組んでいます。裏面では各学年の取組を紹介します。

○足羽中学校の「キャリア教育」の取組について

キャリア教育の充実

これからの時代を生き抜く能力や態度の育成
自分らしい生き方を見つける取組の実践

① 自分の個性や特性について考える学習

- ・自分のよさや可能性を認識するとともに、他者と協働しながら課題を解決する活動
- ・自己有用感、自己効力感を味わうことができる活動

② 学びと将来とのつながりを実感する学習

- ・今の学びが将来にどうつながるのかを意識した学習活動の実践と、学習意欲を高めるための工夫

③ 夢や希望を育てるキャリア教育の実践

- ・将来なりたい自分の姿を描いたり、目標を持ったりすることで、実現に向けて必要となる能力や態度を養う

足羽中学校のスクールプランより

3年生

～自分を見つめ、 自分に合った進路を決める～

3年生は、よりよい進路決定に向け、自分自身の過去・現在・未来を考える「人生スゴロク」を10月から作成しています。自分自身の「これまで」と「これから」を考えることで、「今、何をすべきか」、そして、「次に、どこに進むべきか」を考えるきっかけづくりにしました。また、11月22日には第2回進路説明会を行い、高校受験に向けての流れや受験準備、進路決定に向けての心がまえについて学びました。



第2回進路説明会（11月22日）

将来



1年生

～なりたい自分になるために、つきたい力、実行したいことを考える～

1年生は、福井テレビが作成した「福井県のおしごと本」を活用し、校外学習で県内の企業訪問を行いました（10月29日）。事前学習では、見学を希望する企業について詳しく調べたり、働いている人への質問を考えたりしました。当日は、肉卸売業者「ホクチク」やコミュニティーリゾート「リライム」など8か所の企業に分かれて見学し、「働くこと」について学ぶとともに、今の自分につきたい力について考えることができました。

また、11月8日には福井市のキャリア教育プログラムの一環として講師をお迎えし、プレゼンの効果的な方法について学びました。ここで学んだ手法を生かして、全員がこれまでの学びで身につけた力についてプレゼンテーションしました。

※職場訪問の様子は福井テレビで取り上げられました。詳細は、右のQRコードから御覧ください。



福井テレビで流れたニュース

2年生

～「企業で働く意味」を知り、将来の自分の姿を考える～

2年生は、9～11月にキャリア学習「インターン」という教材を使って、有名企業にインターンに行く疑似体験を行いました。疑似体験の内容については、エントリー・シートの作成、よりよい製品づくりに向けたアンケート調査や調査結果のプレゼンテーションなどを行い、実際にインターンに行ったという設定で、活動する中で「企業の価値」や「企業で働くということはどういうことなのか」について学びました。

また、11月1日には青年会議所の「地域の担い手づくりプログラム」を通じて、県内企業や施設で働く方にゲストティーチャーとして来ていただきました。社会で働く大人の方から「仕事」や「生き方」について話を聞き、将来の自分の姿について、考える機会となりました。



ゲストティーチャーを迎えて（11月1日）

◎「主体的に学習に取り組む姿勢」を引き出すために…

生徒が主体的に学ぶようになるために学校全体で何ができるのかについて、毎月、全教員で学び合いを行っています。本年度は、「豊かに学び、未来を拓く生徒の育成 ～主体的に学び続ける集団を目指して～」をテーマに、4月から取り組んできました。生徒に求める「主体的に学習に取り組む姿勢」を教員も持ち続けるために、まず教員が率先してその姿勢を示せるように努力しています。今後も、「家庭や地域で暮らす皆様と連携し、これからの未来を生きる子どもたちが豊かに学べる環境づくり」に励みたいと思います。



福井大学講師による「AI活用について」の講演
（11月13日）